

令和3年4月1日

防衛医科大学校分子生体制御学講座教授採用案内

この度、防衛医科大学校では、分子生体制御学講座教授候補者を下記により募集いたします。

記

- 1 講座等名及び職名
分子生体制御学講座 教授
- 2 人員
1名
- 3 応募資格
次の全てに該当し、かつ本大学校における教育研究上の能力があると認められる者
 - (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
 - (2) 大学において教授、准教授又は講師としての教育歴を有すること。
 - (3) 本公募の関連分野の授業が担当できる教育研究上の業績を有すること。
ただし、次のいずれかに該当する者は、応募できません。
 - ア 日本の国籍を有しない者
 - イ 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心神耗弱を原因とするもの以外）
 - ウ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
 - エ 法令の規定による懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - オ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
 - カ 自衛隊法第44条の2（自衛官以外の隊員の定年及び定年による退職による特例）に該当する者（この選考採用による官職では、令和3年度中に65歳に達する者）
- 4 求める人材
 - (1) 本校の設立目的を理解し、教育、研究、その他の業務に関する以下の能力をもち、医官、看護官ならびに技官の養成に尽力できること。
 - (2) 教育においては以下の科目、専攻分野および関連する授業を担当することができること。
 - ア 医学科の機能医学系生理学、機能医学系分子生体制御学
 - イ 看護学科の人体の構造と機能Ⅱ
 - ウ 医学研究科の総合生理学系分子生体制御学
 - (3) 研究においては、疾患の病態解明や治療も視野に入れた、分子生体制御の基礎研究を遂行でき、臨床講座等と連携できること。具体的には下記の分野の

研究とその指導ができること。

- ア 自衛隊衛生の向上に寄与する領域の研究
- イ 先進生命科学の発展に貢献できる分野
- ウ ゲノム個別化医療を推進できる基礎的研究

5 処遇

(1) 身分

特別職国家公務員（防衛省職員）

(2) 給与・諸手当

防衛省の職員の給与等に関する法律の規定により支給

(3) 勤務時間等

週休2日制を実施しています。また、年次休暇のほか、年末年始の特別休暇等があります。

6 採用予定年月日

令和4年1月1日（土）（予定）

7 選考実施時期及び場所

防衛医科大学校、日時については応募者に別途連絡

8 選考方法

書類選考のうえ、面接等を実施します。

9 提出書類

- | | |
|---|-------|
| (1) 推薦書 | 1 通以上 |
| (2) 履歴書 | 1 通 |
| (3) 業績目録（主要論文10編程度については抜粋し、その概要も記載して下さい。） | 1 通 |
| (4) 研究業績等目録 | 1 通 |
| (5) 論文別刷5編以内×5部 | 1 式 |
| (6) 職務調書 | 1 通 |
| (7) 防衛省職員採用試験申込書 | 1 通 |
| (8) 健康診断書 | 1 通 |
| (9) 学位記の写し | 1 通 |
| (10) 医師免許証の写し（所持している場合） | 1 通 |
| (11) 卒業証明書 | 1 通 |
| (12) 分子生体制御学講座教授候補者としての立候補に当たっての抱負（1600字以内にまとめる。） | 1 通 |

(1) 推薦書、(2) 履歴書、(3) 業績目録、(4) 研究業績等目録、(6) 職務調書、(7) 防衛省職員採用試験申込書は、本校ホームページ「採用案内」からダウンロードできます。

健康診断書の項目には、問診、身体的検査（視診、触診、聴診、打診）、視力、聴力、エックス線、血圧、尿検査を含んでください。

10 応募期限

令和3年5月27日（木）（必着）

11 その他

- (1) 御送付いただいた書類は返却いたしませんので、あらかじめ御了承下さい。
- (2) 選考の過程において、御来校を願うことがありますので、御承知おき下さい。

12 提出先

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3丁目2番地
防衛医科大学校教務部教務課 宛
(「教官応募書類在中」と朱書きしてください。)

13 問い合わせ先

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3丁目2番地
防衛医科大学校教務部教務課総務係
TEL 04-2995-1407